



診断ヒューラゴ

No.110

平成29年1月1日発行

一般社団法人 兵庫県中小企業診断士協会 発行者 柴谷 真治
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-8-4 神戸市産業振興センター8F
TEL (078) 362-6000 FAX (078) 361-8722 URL:<http://www.shindan-hg.com>

イベント通じ 資格の魅力発信へ

兵庫県中小企業診断士協会
会長 柴谷 真治



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましても、健やかに新しい年をお迎えになられたことと存じ上げます。

さて、昨年(2016年)は年明け早々の1月12日、全国のビジネスマンを対象とした調査結果として、取得したい資格の第1位が中小企業診断士であったとの記事が、日本経済新聞に掲載されました。更に11月7日には、「診断士の活躍期待」として、中小企業診断協会(全国本部)の特集記事が、日刊工業新聞に掲載されました。また、11月4日が中小企業診断士の日として制定され、資格の知名度向上を目的に、全国の都道府県協会で独自のイベントを同時期開催するという活動も始められました。

本年は、この中小企業診断士の日の特別イベントを、近畿ブロックの7協会(大阪、京都、福井、滋賀、奈良、和歌山、兵庫)合同で開催することも検討されています。未だ詳細は決まっておりませんが、個々の協会が同時期に個別に実施するよりも、近畿全体での資格の魅力の発信に努めてはどうかとの意見に基づき、協議を進めているところです。

このように、地道な積み重ねではありますが、内外に我々の資格が注目される場面も増えてきていることを実感しております。

兵庫県協会としての取り組み

本年も会員の皆様のご意見もお聞きしながら、いろいろなイベントを実施して参ります。個々のイベントの詳細は、ホームページやメーリングでそれぞれご案内いたしますので、是非、積極的にご参加いただければ幸いです。

直近のイベントとしては、まず1月22日(日)に企業内診断士祭り「Wasshoi」を予定しています。これは企業内診断士の方々にも積極的に参加いただき、講演やグループディスカッションで参加者が相互の研鑽を高めようという毎年恒例の企画で、今年で6回目となります。

当日は、当協会の調査研究事業として取組中の「製造業の発注側ニーズ」や「企業内診断士の専門能力発

揮」などについての発表が予定されています。その後、昨年の更新研修で学んだ「福井モデル」を題材とし、兵庫県での活動可能性のディスカッションが企画されています。

企業内診断士の方はもちろん、独立されている方々にも参考にしていただける内容だと思いますので、是非とも積極的にご参加ください。

次に2月2日(木)には、当協会の主催により、日本銀行神戸支店長・石井正信様の講演を予定しております。当協会ではこれまで約10年にわたり、本企画を継続してきました。例年時流に合わせた日本経済の状況、神戸支店長ならではの兵庫県の状況を分かりやすく解説いただき、好評をいただいております。本イベントは一般企業の方々にもご参加いただけるオープン企画ですので、会員の皆様のお知り合い企業の方々なども、是非お誘い合わせの上、ご参加いただければ幸いです。

3月以降の各種のイベントや、例年の更新研修・スキルアップセミナーなどについては、開催時期に合わせて、順次ご案内いたします。

変化への即応性もサポートを

内外に目を向けると、経済・政治から気候にいたるまで、過去からの流れ、経験に基づく連続性だけでは見通すことができない変化も生じています。昨年来のいろいろな出来事を振り返ると、世の中全体が従来の路線から変化を求める動きが活発になっているように思えます。

われわれ中小企業診断士は企業経営を幅広くサポートする役割を担っていますが、それぞれの企業が外部環境の変化への対応力を養っておくことも、経営の重要な要素の一つに挙げることができます。また中小企業の一つの強みは、機動力や柔軟性にあるとの論説もよく目にします。

本年も会員の皆様方が、経営における変化への即応性もサポートする中小企業診断士として、それぞれのお立場でご活躍いただき、ご健康でよい1年としていただきますよう祈念申し上げます。本年も何卒よろしくお願ひいたします。

NO.110 診断ひょうご

年男年女

河野勝利(昭和20年生まれ)



新年おめでとうございます。小生も7巡目の干支を迎えました。酉は鶏鳴の如く、夜明けを察知し一番に行動します。我々診断士も状況を真っ先に知り、クライアントと共に行動すべきでしょう。

孔子曰く「…七十にして心の欲するところに従つて矩を踰えず」。古希も過ぎ、生涯現役に向けてクライアントと歩むと共に、親しい仲間達とゴルフやお酒で楽しい時を持つことがエネルギー補給となります。又、健康維持に努め、残された人生を楽しむつもりです。これも、周囲の人達の理解や支えがあつてのこと。感謝×感謝です。本年も宜しくお願いします。

内海政嘉(昭和32年生まれ)



学生の頃から中小企業の役に立つ仕事をしたいとの思いが消えず、勤めていた会社を退職しコンサルタントの道に入りました。その後、コンサルタント会社を設立し、中堅・中小企業の経営改革や現場改善の仕事をして、25年が過ぎました。

今年は、昨年から1年かけて準備をしてきた、原価効率の高いムダ取り改善ができる現場リーダーを育成するための、社団法人「ダイエット経営」が始動します。そのようなリーダーや現場の方と一緒に改善ができることを楽しみにしています。関心のある方がございましたら、お気軽に声をおかけください。

URL:<http://www.creation-net.co.jp/>

三村光昭(昭和32年生まれ)



1996年4月に中小企業診断士に登録し、昨年20年表彰をいただきました三村と申します。

2004年から(公社)JILS、2013年から当協会で「ものづくり&SCM研究会」の活動を始めさせていただき、いろいろな方との出会いがあり刺激を戴いたことに感謝しています。

社会人になってから「即今当処自己」「疾風に勁草を知る」という言葉を意識して参りました。

これからも「チャンジ、チャレンジ、クリエイト」を行動指針として、中小企業診断士活動をしていきたいと考えています。何卒よろしくお願い申し上げます。

多田やす子(昭和44年生まれ)



中小企業診断士の資格を取得して12年目をを迎えます。

これまで経営相談、計画策定、実行支援など、様々なステージに合わせて中小企業支援を行ってまいりました。経営者と共に考え、問題解決に向けた取り組みの中で、私自身が多くのこと学ばせて頂き、そのおかげで、今日があることに感謝しております。

12年前の初心を忘れずに、未来を創る中小企業の元気と笑顔を応援していくたいと思います。

今後は、実力を発揮できる組織・人材育成に取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。URL:<http://withyou2408.com/>

西谷雅之(昭和44年生まれ)



新年あけましておめでとうございます。昨年は診断士業務を仕事の中心とするなど、個人的に大きな変革の年でした。本年から次の年男になるまでの12年間が、人生で最も重要な時期になるものと思われ、新年を機に決意を新たにしてあります。

また、昨年は協会活動においても大阪府中小企業診断士協会の理事に就任するなど、より一層責任の増した年でもありました。今後も診断士の地位向上と中小企業支援の充実に向かって、診断士同士で連携しながら取り組む所存ですので、本年もよろしくお願いします。

URL:<http://fut-light.com/>

溝口達也(昭和44年生まれ)

2013年に中小企業診断士に登録しましたので、今年は診断士として5年目を迎えることになります。現在、私は二足のわらじを履いております。一つは中小企業診断士、もう一つは中小企業経営者です。診断する方とされる方を両方やっています。

2017年は年男!48歳です。30代に比べると徐々に体力の衰えを感じないこともありませんが、まだまだ若いつもりです!

会社経営が忙しいこともあります、診断士としてのコンサルティング業務は細々としかできていませんが、今はもうひと踏ん張り頑張って診断士としてのお仕事も充実させたいと思います。

柳辰雄(昭和44年生まれ)

まさか自分が年男で、既に4回転もしているとは人生は本当に短いものだと痛感しています。早いもので、独立して8年が経とうとしています。製造業の営業支援を軸としながらも、事業計画の策定と実行支援、ミドルマネジメント層の育成等に尽力してきました。まだまだ本物のプロフェッショナルとは言えませんが、次の年男の時期には少しでも本物と言えるように頑張っていく所存です。

高松留美(昭和56年生まれ)

3度目の年女を迎えました。今年の干支である「酉」は「果実が極限まで熟した状態、酒熟して氣の漏れる状態」に由来し、物事が頂点に極まった状態とされるそうです。自分の過去にこじつけてみると、1度目の年女は小学校卒業の年、2度目の年女は大学院で修論執筆…と、その時期なりに熟した状態であったと思います。また、「酉」は「とりこむ」ということで、商売繁盛に縁起が良いそうです。3度目の今年、酉にあやかって、これまで得た経験を成熟させ、これから出会う機会を逃さず取り込み商売繁盛を目指したいと思います。

古田貴喜(昭和56年生まれ)

今年、3回目の年男となります。今の私を12年前の私が見たら、頼りになる人生の先輩と思ってくれるでしょうか?

12年の歳月というのは、その間の出来事を振り返ってみれば様々な事が起こり、長い道のりですが、過ぎ去ってしまった今となつては、あつという間だったという他ありません。

おそらく次の12年もいつの間にか経っているのでしょうか。だからこそ、あのときやっておけばよかったという悔いだけは残さないように歩んでいきたいものです。そして今の私が12年後の私を見たとき、円熟しているなと思えるように、何事にも挑戦し続けるつもりです。

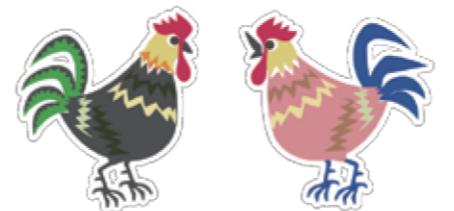
吉川祐介(昭和56年生まれ)

あけましておめでとうございます。

昨年は資格取得から独立と入会を経て、多くの方にお世話になりやり甲斐のあるお仕事をさせていただきました。本当に感謝の限りです。そして、早くも2年目を迎えました。今年も小鳥のように細かいお仕事にマメに動きまわり、渡り鳥のように永きに亘り羽ばたけますよう礎を築いていく年として参ります。よく間違われますが実はまだ36歳でございます。何なりとお気兼ねなくお気軽にお申し付けください。

本年もどうぞ宜しくお願ひいたします。

Facebookにて「office88」で検索をお願いします。

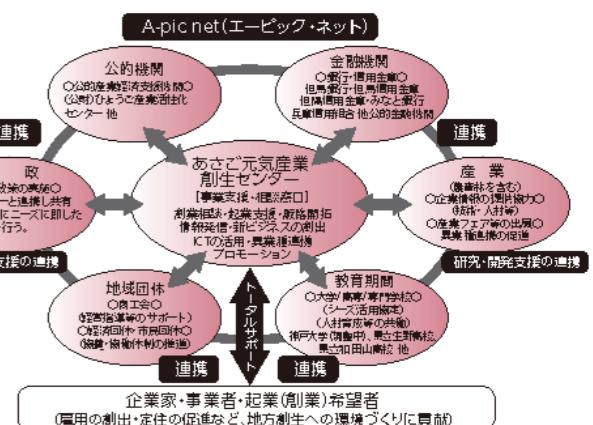
**地域創生時代の創業支援のあり方 〈後編〉****～27年度「調査・研究事業」～**

総務委員会 志水 功行

度は前年の4倍となる8件の新規創業があった。

当市は、平成7年に4町の合併によって発足した。内陸の山間部に位置しているが、旧来より交通の要衝であること、他地域に比べ竹田城跡をはじめ、山城の郷、道の駅あさご村おこしセンター、生野銀山、黒川温泉、よふど温泉などの観光資源に恵まれていることなど多様な魅力を持ち観光客など人の流入も多いことから新規創業には比較的有利な地域であるといえる。

しかし、実際には創業は前述のように竹田地区に集中しているのが現状であることから、今後は観光資源のネットワーク化による他地域への波及効果の増大や「メイド・イン朝来」製品など地域資源の再発掘といった成長戦略の推進が当地域でのさらなる創業促進の契機となることが期待され、あさご元気産業創生センターによるネットワークが構築されている。企業退職者をアドバイザーとして公募採用し新たな視点で地域内の活性化を図る取り組み姿勢が顕著である。



③都市部とは違った地域独自の創業支援の方策に関しては、淡路市において特徴的な取り組みをされているので紹介する。

淡路市では、「淡路市地域創生総合戦略」にて策定した「淡路市まち・ひと・しごと地域創生本部」には4つの専門部会があり、そのうち「雇用部会」では「社会的要因による人口増加に向けた雇用施策の展開」を基本目標に掲げ、雇用創出の観点から「いつかきっと帰りたくなる街づくり」の実現を目指し、以下のように5つの基本的方向を定め、人口減少の緩和と地域活性化を図ろうとしている。

1) 新卒者(高卒)の島外流出を緩和

小学生の頃から、地元企業の魅力の知識を提供することで、地元企業への求心力を高め、将来地元企業に就職するという意識付けにつなげ、新卒者(高卒)の島外流出を緩和している。

2) UIJターンの促進

島外に転居した大学生等に地元の就職情報をはじめとした「ふるさと情報」を発信し、Uターン就職を促進し、UIJターンを対象にした家賃補助等の奨励制度の充実を図る。

3) 新規起業しやすい環境づくり

近年、島外から移住し古民家を活用した飲食店を開業した好事例が、マスコミ、雑誌等で報じられている。これら的好事例に学び、新規起業しやすい環境づくりを支援している。

また遊休農地及び耕作放棄地の情報を発信し、積極的に農地を貸出するなど、企業参入や新規就農の促進を図っている。

4) 地域資源活用による雇用の創出

田舎町の地域資源を生かした地域活性化の事例を調査検討し、地域に適した新たな地域活性化策を講じている。第1次、2次、3次産業の連携による第6次産業化を目指すこと、地域資源に新たな付加価値を生み出すとともに、雇用の創出を図っている。

5) 企業誘致の促進と販路拡大による雇用の創出

ICT技術を活用した産業に代表される多様な就労が可能な分野の産業を誘致することで、時間的に家庭と仕事の両立が図られ、女性が就労しやすい環境の充実、女性の社

研究会報告

HOOひょうごオンライン経営研究会

今回参加メンバー（敬称略）

福島繁、久保田穂、千田徹夫、中島和樹、塔筋幸造

HOOひょうごオンライン経営研究会では、オンラインを目指す企業を訪問し、調査を実施ながら、助言などを通じて支援活動を実施しています。今回の訪問研究対象は、オーヨン株式会社です。社長を交えたヒアリングを行い、工場などの実地研修をさせて頂きました。（会員 塔筋幸造）

<会社概要>

会社名 オーヨン株式会社

代表者 代表取締役 吳本 勇

住所 〒653-0041

兵庫県神戸市兵庫区和田山通1-2-25 A-104

創業 平成21年9月

事業内容 合成皮革、ビニール、皮革製品の加工、販売及び輸出入業他

受賞歴 神戸市産業振興財団主催 ドリームキャッチプロジェクト 第11回 X-KOBE（エクスコウベ）認定
神戸新聞「金型を使わず皮や合皮に模様 長田のオーヨン」掲載

中小企業総合展2010 in Tokyo 出展

（財）ひょうご産業活性化センター

成長期待企業選定

第50回 全国繊維技術交流プラザ出展

優秀賞受賞

会進出を促進する。

特に、3)新規起業しやすい環境づくりでは、遊休農地や耕作放棄地の解消をめざし、就農希望者への農地提供や補助金給付など農業活性化への取り組みが注目され、これらは都市部ではみられない創業支援のあり方といえる。

まとめ

地方部にとって人口減少や経済衰退は都市部以上に深刻であり、地域の存続そのものに関わる問題である。各地域においてはその解決のためにあらゆる施策に取り組んでいるところであり、地方部における創業支援はあくまでもその施策の一環という位置付けである。単に創業者数を増やすだけでなく、人口維持や地域産業の振興など切実な課題解決を見据えた上での支援といえ、今後の取り組み如何では地方部の地域間で格差が広がる恐れもあるものと考えられる。

（※1）経営発達支援計画…

「商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律（小規模支援法）」に基づき、商工会および商工会議所が、小規模事業者の事業の持続的発展を支援する計画を策定し、中小企業庁が認定している

私の駆け出し時代 ④



200社に提案書、結果を出す！

株式会社事成す 代表取締役 西本 文雄さん

現在活躍されている当協会会員も、駆け出し時代は様々な苦労をされてきました。「今だから話せるエピソード」も織り交ぜながら、苦労話や飛躍のきっかけ、後進へのアドバイスなどを広報委員が伺います。4回目は、2009年に診断士登録をされた西本文雄さんです。

私は、テーマを決めて取り組むコンサルティングはしていません。テーマを絞り込むと、ある一定のプロセスに制限されますよね。実際は、同時進行している経営課題が山のようにあるので、それを企業にどっぷりと入り込んで、改善対応していきます。ですから、企業には私の席を準備してもらい、最低週1回、月4回以上の訪問をしています。

一そのようなスタイルで仕事を行うための、習慣や意識していることなどあったら教えてください。

創業当時からやっている習慣としては、毎朝4時半に起きて「一人作戦会議」をやっています。その日の朝に思い浮かんだことをノートに落書きするのですが、将来のことだったり、お客様の考えを100個書き出してみたり。あと、常に意識していることは、「嫌われずに相手を口説く」ですね。嫌われなければ潜在顧客を増やしていくと思うので、これをモットーとしています。「類は友を呼ぶ」は、世の中の原理が集約されている言葉だと思っています。自分が素敵な診断士になれば、自然と自分の周りには素敵なお客様や仲間だけで構成されると。

一西本さんご自身の今後のビジネスで、何かお考えのことありますか？

381万ある中小企業の中で、自分が本質的にお役に立てるのは20社が限界ではないかと思っています。ですから、自分が知っている数百社の企業と中小企業診断士のマッチングができたらしいなと考えています。そのため、まずは診断士が集まる場所が必要なのでは？などと思案しています。

一最後に、駆け出し中の診断士にメッセージを頂けますか？

皆さん、何か達成したい思いがあり診断士になったのだと思います。それを実現するためには、常に事業者意識を持って取り組んでいただきたいと思います。もし今、公的機関の仕事がメインの場合、お金もらって勉強させてもらっているという思いで、本来の自身のビジネスを発展させていく方向性で取り組んでいく必要があると思います。私は、人生はイベントづくりだと思っています。自分が面白いと思う色々なことを懸命に取り組んでいくことが最終的にいい結果に繋がると信じています。

（インタビュー 広報委員会 嶋えりか）



吳本社長（左）と研究会メンバー

委員会報告 10月~12月

●総務委員会

委員会開催日	主な議題
10月11日(火)	平成28年度理論製作更新研修の総括 平成28年度経営診断実務研修の進捗確認 協会新バッヂ配布手順について 支払調書用マイナンバー収集・管理手順の検討、作成
11月15日(火)	平成29年度の年間スケジュール及び運営方法等の検討
12月13日(火)	平成28年度経営診断実務研修の進捗状況の確認 平成29年度の年間スケジュール及び運営方法等の確認 平成29年度予算編成、社員総会の準備
[事業報告]	・協会ロゴマーク変更に伴い、当協会正会員を対象に新バッヂの貸与を開始しました。 ・マイナンバー制度への対応として、マイナンバーの収集・管理手順を整備し、支払調書発行対象者に対して、マイナンバーの収集を開始しました。

●広報委員会

委員会開催日	主な議題
10月11日(火)	診断ひょうご1月号コンテンツ検討、診断ひょうごのグレードアップ検討等
11月29日(火)	診断ひょうご1月号の校閲、「別冊企業診断ニュース」のコンテンツ検討等
[事業報告]	診断ひょうごやホームページのグレードアップを目指して検討を進めています。

●会員研修委員会

委員会開催日	主な議題
10月24日(月)	各種イベント・セミナーの準備状況について
11月28日(月)	「企業内診断士まつりWasshoi」の準備状況について 知的財産権セミナー、診断士の日記念講演の結果報告
12月26日(月)	Wasshoi、日銀セミナーの企画運営について 上半期の事業結果と下半期の計画について
[事業報告]	・10月22日、弁理士の長谷部先生を講師に迎え、知財セミナーを実施しました。 ・11月4日の診断士の日を記念して、11月3日に日本交流分析協会准教授である星野先生を講師に迎え、診断技術向上研究会と共に特別記念講演を行いました。 ・12月まで、スキルアップセミナーも順調に第4回まで終了、今年度、あと2回となりました。

●受託開発委員会

委員会開催日	主な議題
10月11日(火)	今年度の受託案件の予測及びその他の事項
[事業報告]	・受託案件の年度未予想額は約5,300万円程度で、10月11日までの実績は約1,000万円です。 ・その他として、経営指導員向け研修(見習い研修)が採択され、11月前半にスタートすることになりました。また、兵庫県の農業経営法人化プロジェクト専門化派遣事業がスタートしています。さらには専門家派遣について、経営力向上計画の作成支援など複数依頼が来ています。
[事業報告]	診断ひょうごやホームページのグレードアップを目指して検討を進めています。

ニュース

NEWS

■ 「診断士の日」を記念してセミナー

11月4日が「中小企業診断士の日」として制定され、この日に合わせて全国の都道府県協会が一斉に記念イベントを行った。当協会では、28年11月3日(火)、兵庫県民会館に交流分析の第一人者である、株式会社マンズ・リソース代表取締役 星野恵子氏を招き、特別講演「人間関係を豊かにするコミュニケーション心理学セミナー」を開催した=写真=。22人が参加し、コミュニケーションで自分と相手のスタンスを



4パターンに分類、それぞれの状態を自ら体験し、自分の今ある状態に気付くこと、最善のパターンに立ち戻るためにできることは何かを学んだ。

■ 「中小企業経営診断シンポジウム」で乾氏が発表

平成28年度「中小企業経営診断シンポジウム」が28年11月8日、東京都文京区の東京ガーデンパレスで開かれた。当協会からは、分科会「会員グループによる調査・研究発表」の部において、地域産業活性化研究会の乾竜夫氏が、「観光まちづくりを狙いとした地域活性化診断用 SWOT分析

方法・支援マニュアルの研究開発～加西市&北条鉄道活性化に関する各種調査分析報告書～と題して、同研究会のこれまでの成果や調査研究の手法、実際の振興策などを報告した=写真=。

■ 福井で近畿ブロック会議

近畿ブロック会議が、28年11月19日(土)に、福井県福井市内で開かれた=写真=。近畿2府5県から14人、協会本部から3人が出席して、午後1時に開会。当協会からは、柴谷会長、高槻副会長、湯浅常任理事が出席した。本部の野口正・専務理事が、新輸出大臣コンソーシアム、ローカルベンチマーク等について説明。各協会からは「中小企業診断士のプランディング化への取り組み」「海外展開支援事業の取り組み」等について報告を行った。当協会は、診断士の日の特

別講演(心理学セミナー)、創業スクール、国際フロンティア産業メッセ、プロコン育成塾などの活動を報告した。



協会だより

(一社)中小企業診断協会(全国本部)では、中小企業診断士の役割及びその専門性等を広く社会にアピールするためのブランディング戦略の一環として、新たな中小企業診断協会のロゴマークとバッジを作成しました。当協会では、10月より正会員の方を対象に、新バッジの貸与を開始しました。また、全国本部では、わが国の「中小企業診断制度」が発足したことを踏まえて、11月4日を「中小企業診断士の日」として制定いたしました。そして、毎年11月4日の前後一週間程度の期間において、全国本部及び都道府県の各中小企業診断士協会で、中小企業

診断士のPR活動を実施することになりました。当協会では、昨年11月3日に兵庫県民会館で、特別講演として「人間関係を豊かにするコミュニケーション心理学セミナー」を開催しました。当協会では、協会会員各位の満足度向上のための活動だけに留まらず、中小企業診断士の知名度向上のための活動を、今後も積極的に展開していく予定です。そして、それら諸活動が、中小企業診断士の皆様の活躍の場を広げることに少しでも寄与できればと考えております。(総務委員長 加山晴猛)

今後の予定

セミナー

スキルアップセミナー

日程	会場	テーマ	講師
1月14日(土)	県民会館1001	「プロモーション視点で考える～お店の売上をアップする4つのポイント～」	中小企業診断士 中村佳穂会員
2月25日(土)	県民会館1001	「工場が変わる!お店も変わる!あなたにもできる5S活動を売上に変える方法～フロントエンドとバックエンドの活かし方～」	中小企業診断士 西本文雄会員

※代表:田中秀和 hide-kazu@maia.eonet.ne.jp

オープンセミナー 「企業内診断士祭り Wasshoi」

- ◆日時: 平成29年1月22日(日)
- ◆場所: 兵庫県民会館 1202号室
- ◆テーマ、内容は検討中。終了後、交流会を予定しています。

28年度調査研究事業

「製造業の発注側ニーズの変化を把握し、収益改善・販路開拓に繋がる中小企業の戦略についての調査研究」発表会

- ◆日時: 平成29年3月4日(土) 14:30~16:30
- ◆場所: 兵庫県民会館901会議室 ◆定員: 35名

オープンセミナー 「日銀神戸支店長が語る! 最近の金融経済情勢について」

- ◆日時: 平成29年2月2日(木) 18:30~20:30
- ◆場所: 神戸市産業振興センター901号室
- ◆講師: 日本銀行神戸支店長 石井正信氏
- ◆定員: 100名(先着順、事前申し込み制)
- ◆参加費: 無料(どなたでも参加できます!)
- 下記URLより専用フォームにてお申込みください。
また、FAX 専用申込用紙もございますので協会までお電話ください。
<https://ssl.form-mailer.jp/fms/7e77ecb6164769>
(携帯の方は右のQRコードをご利用ください)



問い合わせ先: 078(362)6000

研究会スケジュール

● 診断技術向上研究会

日 時	場 所	テ マ	講 師
1月12日(木)	県民会館302	コミュニケーション心理学(交流分析)⑧	富田将美
2月 9日(木)	県民会館302	コミュニケーション心理学(交流分析)⑨	未定
3月 9日(木)	兵庫県民会館(未定)	コミュニケーション心理学(交流分析)⑩	未定
※開催日は原則、毎月第2木曜日	18:30~20:30		
※連絡先: 高槻 仁志 takatsuki@tokbs.jp			

● 地域産業活性化研究会

日 時	場 所	テ マ	講 師
1月12日(木)	協会事務所会議室	DMO・観光地経営における中小企業診断士の活動領域拡大に関する調査	研究会員全員
2月 2日(木)	未定	「(仮題)産業構造変化の方向と企業の対応について」	経済産業省 経済産業政策局 産業構造課長 蓮井智哉氏
※開催日は原則、毎月第1水曜日	18:30~20:30		
※連絡先: 代表 大場 一正 kohba@alles.or.jp	(今年度の会員募集は締め切りました)		

● プロコンスキル研究会

日 時	場 所	テ マ	講 師(進行役)
1月 9日(月)	未定	DMO・観光地経営における中小企業診断士の活動領域拡大に関する調査	研究会員全員
3月13日(月)	神戸市産業振興センター	未定	未定
5月 8日(月)	未定	未定	未定

※開催日は原則、奇数月の第2月曜日 18:30~20:30

※連絡先: 富松 誠 m.tomimatsu@m-reinforce.com

(参加はプロコン育成塾修了者と講師に限ります)

● ひょうごオリンピック経営研究会(HOO)

日 時	場 所	テ マ	講 師
1月中旬	未 定	2017年新年会	参加者全員
2月上旬	神戸市勤労会館	第4回連携セミナー準備 (2/2木)は協会オープンセミナーに参加	参加者全員

※開催日は原則、毎月第1木曜日 18:30~20:30

※連絡先: 代表 中島 和樹 nrj21477@yahoo.com